

総 括 事 項

1 名称・所在地

高知県水産試験場

高知県須崎市浦ノ内灰方1153-23

電 話：088-856-1175

e-mail：040409@ken.pref.kochi.lg.jp

F A X：088-856-1177

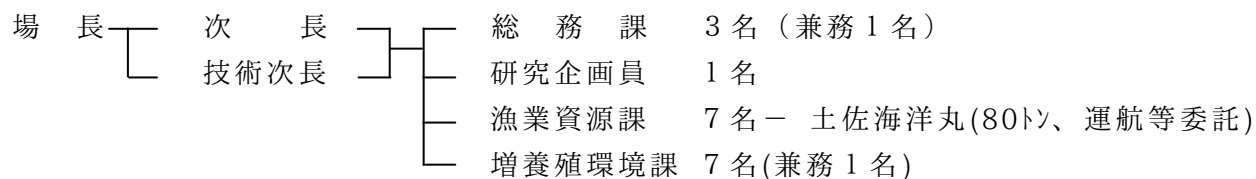
H P：http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/

交通機関：JR 高知駅（高知市）から高知県交通バス宇佐行き乗車、宇佐終点から徒歩 10 分

2 沿 革

明治34年	県庁内に設立
35年	須崎町に新庁舎建設し移転
大正9年	講習部新設
昭和元年	無線電信陸上局新設
19年	講習部廃止
21年	南海地震により庁舎一部破損、備品類大部分を流失
29年	15号台風により庁舎全壊
30年	庁舎新築
43年	幡多郡大月町古満目に実験室設置
46年4月	須崎市浦ノ内灰方に庁舎新築移転
46年4月	大月町古満目に試験地設置
48年4月	大月町古満目に実験所設置
53年3月	土佐市宇佐町竜に無線局移転
57年4月	無線局業務を須崎無線漁業協同組合へ移管
58年1月	海洋開発調査船「土佐丸」竣工
58年4月	栽培漁業センターの設置に伴い古満目実験所を廃止、大月町に貸与
61年3月	海洋漁業調査船「土佐海洋丸」竣工
61年7月	皇太子殿下下行啓
平成3年2月	海洋漁業センター新築
9年4月	機構改革により、5課（科）体制が4課（科）体制となる
10年4月	機構改革により、産業技術委員会事務局へ移管
15年12月	海洋開発調査船「土佐丸」廃船
17年4月	機構改革により、4課（科）体制が3課（部）体制となる
17年9月	横浪林海研究交流センターの設置
19年4月	機構改革により産業技術部に組織替え及び3課（部）体制が3課体制となる
20年7月	海洋漁業調査船「土佐海洋丸」廃船
20年9月	新海洋漁業調査船「土佐海洋丸」竣工
21年4月	機構改革により、水産振興部に移管

3 平成21年度機構及び人員



4 平成21年度職員一覧表

場 長 桑原 秀俊
 次 長 今井 一博
 技術次長 岡村 雄吾

所 属	職 名	職 種	氏 名	備 考
総 務 課	次 長 兼 総 務 課 長	行 政 職	今 井 一 博	
	チ ャ ーフ	行 政 職	村 上 剛 一	
	主 任	行 政 職	寶 藏 正	
研究企画員		研 究 職	柳 川 晋 一	
漁業資源課	漁業資源課長	研 究 職	田 ノ 本 明 彦	
	チ ャ ーフ	研 究 職	新 谷 淑 生	
	主任研究員	研 究 職	浦 吉 徳	
	主任研究員	研 究 職	山 本 順	
	主任研究員	研 究 職	林 芳 弘	
	主任研究員	研 究 職	大 河 俊 之	
	主任研究員	研 究 職	梶 達 也	
増養殖環境課	技 術 次 長 兼 増 養 殖 環 境 課 長	研 究 職	岡 村 雄 吾	
	チ ャ ーフ	研 究 職	明 神 寿 彦	
	主任研究員	研 究 職	田 島 健 司	
	主任研究員	研 究 職	渡 辺 貢	
	主任研究員	研 究 職	荻 田 淑 彦	
	主任研究員	研 究 職	田 井 野 清 也	
	主任研究員	研 究 職	石 川 徹	

5 平成21年度当初予算

(単位：千円)

事業名	予算額	うち 国庫	うち 受託
		支出金	事業収入
水産試験場管理運営費	82,961	0	0
管理運営・共通経費	19,033		
調査船運航事業費	63,928		
水産試験場施設整備費 (平成20年度2月補正分)	0 9,230	0 9,230	0
水産業試験研究費	36,473	1,473	10,972
地域レベルでの漁海況情報の提供	2,946	1,473	
資源評価調査委託事業	8,472		8,472
日本周辺高度回遊性魚類資源調査委託事業	2,500		2,500
沿岸水産資源の持続的な利用の推進及び新漁場等の調査	3,289		
浮魚礁モニタリング調査事業	1,374		
宿毛湾養殖漁場への温暖化影響モニタリング調査と適応策の検討	2,987		
白点病のモニタリングと発生予測手法の開発	1,003		
技術支援事業費	3,091		
非常勤職員等経費	10,811		
水産振興部からの令達事業	8,144	402	923
赤潮等発生監視調査事業	220		
土佐湾における有害赤潮等分布拡大防止事業	923		923
養殖衛生管理整備事業	804	402	
磯焼け等沿岸域機能回復支援事業	1,617		
土佐黒潮牧場保全事業	1,723		
沈設型魚礁現状調査費	2,857		
合 計 (平成20年度2月補正分を含めた合計)	127,578 (136,808)	1,875 (11,105)	11,895 (11,895)

<参考>

水産試験場当初予算額の推移

年 度	金 額 (千円)	対前年比 (%)
2	266,484	119.1
3	260,752	97.8
4	255,221	97.9
5	249,316	97.7
6	255,431	102.5
7	245,621	96.2
8	258,425	105.2
9	259,376	100.4
10	240,965	92.9
11	206,537	85.7

年 度	金 額 (千円)	対前年比 (%)
12	216,315	104.7
13	215,814	99.8
14	206,028	95.5
15	185,881	90.2
16	141,467	76.1
17	141,753	100.2
18	128,976	91.0
19	131,877	102.2
20	114,156	86.6
21	119,434	104.6

総括事項

6 平成21年度の業務実績

(1) 学習会・研修会等

開催月日	講師	講演内容	会議・研修会等名称	開催場所	対象者	参加人数
4月 18日	梶 達也	ブリはいつ、どこを、どのように泳いで定置網に入るか？ 平成21年4～7月におけるアジ、サバ、イワシ類、メジカ等の 漁況予報と海況予報	以布利、窪津大敷合同役員会	土佐清水市	以布利、窪津大敷組合役職員	35
5月 15日	柳川 晋一	カツオの生態とカツオ漁業そして「たたき」の作り方	カツオたたきインストラクター養成講座	須崎市		30
16日	梶 達也	ブリの生態・資源研究における現状と課題	幡多定置漁業振興会講演	土佐清水市	幡多定置漁業振興会	15
21日	石川 徹	赤潮情報伝達手段について	大谷漁業協同組合タイ部会	須崎市(大谷漁協)	養殖業者	10
29日	柳川 晋一	カツオの生態と漁法	カツオ学習会	土佐山田小学校		10
6月 15日	荻田 淑彦	スラリーアイスについて	スラリーアイス勉強会		水産振興部	15
16日	田井野 清也	高知県におけるウニ類除去による藻場の再生について	環境生態系保全活動支援制度説明会	黒潮町	黒潮町環境保全推進協議会	25
29日	岡村 雄吾	高知県の漁業	小学校5年生社会教育	浦ノ内小学校		12
29日	石川 徹	浦戸湾の生態系について	小学校5年生社会教育	御畳瀬小学校		6
7月 3日	梶 達也	記録型標識により明らかとなったブリの生態	平成21年度芸東地区沿岸漁業協議会 芸東地区漁村青年協議会通常総会	奈半利町	芸東地区沿岸漁業協議会	40
9日	柳川 晋一	カツオの生態と漁法	カツオ学習会	香我美小学校	香我美小学校4年生	41
13日	田井野 清也	高知県におけるウニ類除去による藻場の再生について	環境生態系保全活動支援制度説明会	須崎市	池の浦・久通磯焼け対策部会	10
27日	柳川 晋一	ウニ除去による藻場再生の取り組みについて 高知県の漁業：タチウオの研究事例について	須崎市小中学校教員理科部研修	水産試験場	須崎市小中学校理科部	15
8月 12日	田井野 清也	高知県におけるウニ類除去による藻場の再生について	環境生態系保全活動支援制度説明会	夜須町	手結地区藻場保全活動組織	20
24日	柳川 晋一	インターンシップ受入（～9/4）	インターンシップ受入（～9/4）	水産試験場	高知工科大学	1
20日	荻田 淑彦	市場での鮮度保持について	鮮度管理学習会	JF土佐清水支所	市場職員	8
25日	渡辺 貢	白点病の対策について	大谷タイ部会	大谷漁協	養殖業者等	13
9月 4日	梶 達也	平成21年下半期の漁海況予報について	すくも湾まき網部会	宿毛市	巻き網漁業者	11
15日	石川 徹	浦の内湾の赤潮とその対策	深浦漁業協同組合養殖業関係者	深浦支所	養殖漁業者・漁協職員	15

学習会・研修会等（続き）

開催月日	講師	講演内容	会議・研修会等名称	開催場所	対象者	参加人数
10月 5日	田ノ本明彦 柳川晋一	高知県の漁業と黒潮牧場	水産大学校乗船実習	宇佐港	水産大学校2年生	51
22日	柳川晋一	水産試験場の仕事について。海と漁業	土佐山田小学校	水産試験場	小学4年生	80
11月 19日	田井野清也	高知県におけるウニ類除去による藻場の再生について	環境生態系保全活動支援制度説明会	水産試験場	みんなの海を育てる会	20
12月 3日	柳川晋一	カツオの生態と漁法	カツオ学習会	伊野南小学校	小学4年生	57
4日	石川徹	アサリ・モニタリング方法の研修	宇佐地区アサリ協議会	水産試験場	会員・土佐市役所職員	10
18日	石川徹	赤潮プランクトン同定研修	高知県漁業改良普及員研修会	海洋漁業センター	県職員	5
1月 10日	新谷淑生	カツオ一本釣船の操業記録から見たカツオ漁業の動向	第3回「食」と「漁」を考える地域シンポ	黒潮町	一般市民	120
25日	荻田淑彦	市場での鮮度保持について	鮮度管理学習会	すくも湾漁協	市場職員	8
2月 5日	渡辺貢	白点病対策と魚病発生状況について	養殖講習会	須崎市	養殖業者等	12
6日	梶達也	平成22年度上半期の漁海況予報	宿毛湾まき網部会	宿毛市	巻き網漁業者	12
12日	梶達也	3年間のブリ研究成果と今後の取組み ～アーカイバルタグと操業日誌の融合へ向けて～	高知県定置研修会	高知市	定置漁業者	60
17日	渡辺貢	魚病発生状況について	養殖講習会	須崎市	養殖業者等	12
23日	石川徹	今後の浦ノ内湾におけるアサリ資源回復手段の一例として	宇佐地区アサリ協議会	土佐市	宇佐地区アサリ協議会 市職員	10
3月 4日	石川徹	浦ノ内湾の環境等について	浦ノ内小学校4年生総合学習	水産試験場		10
12日	荻田淑彦	市場での鮮度保持について	鮮度管理学習会	JF佐賀支所	市場職員	12
13日	新谷淑生	メジカの今後の見通し「6月まで不漁傾向が続く」	メジカ学習会	土佐清水市	清水小型船主組合メジカ部 会	30

総括事項

(2) 学会・研究会等での発表（口頭発表・ポスターセッションとも）

発表日	所 属	発表者名	演 題	学 会 ・ 研 究 会 等 名 称	開 催 場 所
6月27日	高知県水産試験場増養殖環境課	田 井 野 清 也	漁業者が主体となる磯焼け対策を目指して	第8回日本応用藻類学会	東京海洋大学
9月27日	高知県水産試験場増養殖環境課 (有)エコシステム	田 井 野 清 也 細 木 光 夫	植食動物の除去による藻場回復の実践 －高知県での試み－	平成21年度日本水産工学会秋季シンポジウム 「持続的な磯焼け対策の実践に向けて」	東京海洋大学
10月1日	高知県水産試験場漁業資源課 高知県宿毛漁業指導所 三重県水産研究センター 宮崎県水産試験場 中央水産研究所	梶 達 也 青 野 怜 史 久 野 正 博 福 田 博 文 阪 地 英 男	室戸岬と足摺岬からアーカイバルタグを装着して放 流したブリの移動	平成21年度日本水産学会秋季大会	岩手県盛岡市
11月18日	中央水産研究所 三重県水産研究所 高知県水産試験場漁業資源課 宮崎県水産試験場	阪 地 英 男 久 野 正 博 梶 達 也 福 田 博 文	太平洋沿岸におけるブリの日周鉛直移動とその季節 変化	2009年度水産海洋学会研究発表大会	長崎大学
3月20日	高知県水産試験場増養殖環境課 黒潮町役場	田 井 野 清 也 林 芳 弘 ・ 石 川 徹 尾 崎 憲 二	高知県黒潮町地先におけるウニ類除去による藻場の 再生とその有効期間	日本藻類学会第34回大会	筑波大学
3月21日	黒潮生物研究所 水産工学研究所 高知県水産試験場増養殖環境課 高知大学	田 中 幸 記 川 俣 茂 田 井 野 清 也 原 口 展 子 ・ 平 岡 雅 規	高知県におけるホンダワラ類の分布様式 －波当りの強さとの関係について－	日本藻類学会第34回大会	筑波大学
3月23日	高知県水産試験場増養殖環境課	田 井 野 清 也	土佐湾における流れ藻の分布と種組成の経年変化	東京大学海洋研究所共同利用シンポジウム 「東シナ海を主としたガラモ場と流れ藻の分布と 生態」	東京大学農学部

(3) 投稿論文・執筆等

所 属	著 者 名	題 目	投 稿 学 会 ・ 書 籍 名 等	備 考
高知県水産試験場研究企画員 東京海洋大学	柳 川 晋 一 渡 邊 精 一	四国産タチウオ <i>Trichiurus japonicus</i> とテンジク クダチ <i>T. sp.2</i> の形態形質比較による簡易判別法	日本水産学会誌. Vol.75, No.2,p.213-218, 2009	
増養殖環境課	田 井 野 清 也	カジメ・クロメの藻場造成－高知県沿岸－	「カジメ属の生態学と藻場造成（能登谷正浩編著）」 恒星社厚生閣，東京. P.72-92. 2009	
富山県農林水産総合技術センター水産研究所 高知県水産試験場 西海区水産研究所 のと海洋ふれあいセンター	寺 脇 利 信 田 井 野 清 也 阿 部 真 比 古 東 出 幸 真	コアマモ、アマモおよびタチアマモ草体の季節的変 化の比較	海苔と海藻. 76,p.25-40,2009	
富山県農林水産総合技術センター水産研究所 高知県水産試験場 西海区水産研究所 のと海洋ふれあいセンター	寺 脇 利 信 田 井 野 清 也 阿 部 真 比 古 東 出 幸 真	コアマモおよびタチアマモの時期別の水槽栽培	海苔と海藻. 77,p.29-34,2010	
高知県水産試験場漁業資源課	新 谷 淑 生	高知県海域のカツオ曳縄漁況の予測について	黒潮の資源海洋研究. 第11号,p.67~75,2010	
高知県水産試験場研究企画員	柳 川 晋 一	豊後水道及び周辺海域におけるタチウオの成熟と Batch産卵数	黒潮の資源海洋研究. 第11号,p.103~104,2010	
Graduate School of Biosphere Sciences, Hiroshima University Kochi Prefectural fisheries experimental station Marine Seed Releasing Technology Center Gifu Prefectural Research Institute for Freshwater Fish and Aquatica Environments	Tetsuya Umino, Teruyuki Kajihara, Hiroshi Shiozaki, Toshiyuki Ohkawa, Dal-Sang Jeong Kenichi Ohara	Wild stock structure of <i>Girella punctata</i> in Japan revealed shallow genetic differentiation but subtle substructure in subsidiary distributions	Fisheries Science, 75, 909- 919. 2009.	

総括事項

(4) 研究会、シンポジウム等の開催

年 月 日	開 催 名 称	場 所	人 数
平成22年3月19日	水産技術報告会	海洋漁業センター	25名

(5) 研修・見学等の受け入れ

1) 横浪林海研究交流センター

受 入 期 間	受入者（機関・組織名等）	人数
平成21年4月1日～平成22年3月31日	高知大学大学院総合人間自然科学研究科の研究	350
平成21年6月6日	株式会社高知新聞文化センター 高新文化教室「自然に学ぶ”森里海連携学”」	45
平成21年7月10日	高知大学教育学部 「自然環境学実習」	28
平成21年9月12日～平成21年9月17日	京都大学フィールド科学教育研究センター・瀬戸実験所 (イシサンゴ類の分布頻度調査ほか)	48
平成21年8月24日～平成21年8月26日	京都大学フィールド科学教育研究センター	15
年 計		486

2) インターンシップ

受 入 期 間	受入者（機関・組織名等）	人数
平成21年8月24日～平成21年9月4日	高知工科大学3年生	1

(6) 県外での主要会議への出席状況

月	開催日	会 議 名	開 催 場 所	出 席 者	
4月	22日	ビンナガ来遊動向検討会及びヨコ加入量調査打合せ(22～25)	遠洋水産研究所	新谷	
	24日	カツオ分布・来遊モデル構築のための研究計画検討会	遠洋水産研究所	新谷	
5月	15日	「自動観測ブイを用いたリアルタイム沿岸漁場環境モニタリングによる地球温暖化影響評価手法の開発」設計会議	横浜市	明神・山本	
6月	11日	カツオ長期来遊資源動向検討会	静岡市	山本	
7月	27日	第1回太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議(27～28)	横浜市	山本・林・梶・大河	
	28日	中央ブロック卵・稚仔、プランクトン調査研究担当者協議会	横浜市	林	
	28日	第1回資源評価調査担当者会議	横浜市	林・梶・大河	
	28日	第1回漁海況情報分析検討会	横浜市	山本	
9月	10日	資源評価会議(10～11日)	横浜市	梶	
10月	14日	中央ブロック資源・海洋研究会(14～15)	高知市	桑原・田ノ本・ 新谷・山本・大河 林・梶	
	2日	キンメダイ資源行政、研究担当者会議	東京都		
	8日	瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	福岡市	渡辺	
	9日	平成22年度の高度回遊性魚類資源委託事業予算協議	遠洋水産研究所	新谷	
	13日		中央ブロック漁海況情報分析検討会・資源評価担当者会議・資源動向調査分科会(10/13、15)	高知市	山本・林・大河・ 梶

主要会議への出席状況（続き）

月	開催日	会 議 名	開 催 場 所	出 席 者
10月	17日	瀬戸内海水産フォーラム「瀬戸内海における二枚貝類の増養殖と資源回復」	広島市	石川
	22日	技術情報交流セミナー「水産分野における温暖化研究の原状と展望」	東京都	明神
	23日	23日 全国養殖衛生管理推進会議	東京都	渡辺
11月	5日	栽培漁業太平洋南ブロック会議(5～6)	横浜市	大河
	5日	磯焼け対策全国協議会(5～6)	東京都	田井野
	10日	中央ブロック水産業関係研究開発推進会議(10～11) 「漁業資源部会」「海洋環境部会」「浅海増殖部会」	横浜市	岡村・田ノ本
	19日	ガザミ研究会(19～20)	熊本市	大河
	19日	九州・山口ブロック魚病分科会魚類防疫対策地域合同検討会(19～20)	鹿児島市	石川
	30日	魚病症例研究会（30～12/01）	伊勢市	渡辺
12月	1日	中央ブロック水産業関係機関研究開発推進会議（1～2）	横浜市	桑原
	9日	漁場環境保全関係研究開発推進部会 赤潮・貝毒部会（9～10）	広島市	田島・石川
	15日	中央ブロック資源評価会議及び漁海況予報会議出席(15～16)	横浜市	山本・大河・梶
	16日	瀬戸内海ブロック研究開発推進会議・場長会（16～17）	広島市	桑原
	18日	第2回カツオ資源問題検討会	東京都	明神
1月	28日	水産関係試験研究機関長会議	横浜市	桑原
	29日	全国水産試験場長会総会	横浜市	桑原
	10日	第6回JAFIC漁業情報研究会	黒潮町	山本
	11日	第3回「食」と「漁」を考える地域シンポ （新谷 「カツオ一本釣船の操業記録から見たカツオ漁業の動向」	黒潮町	新谷
	20日	養殖衛生管理問題への調査・研究成果報告会(20～21)	東京都	渡辺
2月	2日	自動観測ブイ報告会	東京都	明神・山本・田井野
	10日	漁海況システム定例会	高知市	山本
	15日	かつお・びんながSG推進検討会	静岡市	新谷
	15日	アサリ・干潟関連調査研究事業合同報告会	東京都	石川
	15日	南中九州・西四国水族防疫会議等（15～16）	大分市	渡辺
	16日	日本周辺国際魚類資源調査委託事業報告会	静岡市	新谷
	19日	水産業関係研究開発推進会議遠洋漁業関係研究開発推進特別部会	静岡市	田ノ本
	23日	資源管理研修会	横浜市	林
	23日	H21赤潮情報等ネットワークシステム高度化事業・有害藻類関係者連絡協議会	広島市	田島
3月	5日	持続的養殖生産・供給推進事業結果報告会	東京都	荻田
	8日	赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業総合検討会および貝毒安全対策事業総合検討会(8～10)	東京都	石川
	11日	亜熱帯性ホンダワラ属海藻類の分類に関するWS(11～12)	鹿児島市	田井野
	18日	第2回全国養殖衛生管理推進会議等	東京都	渡辺

総括事項

(7) 平成21年度 海洋漁業調査船「土佐海洋丸」運航実績

航海期間	調査項目	運航日数 (待機日除く)
H21.4.2~4.11	土佐湾・宿毛湾・足摺室戸沖合定線、漁場一斉調査	10
H21.4.13~4.17	浮魚礁モニタリング調査	4
H21.5.7~5.12	土佐湾底線調査、漁場一斉調査	6
H21.5.18~5.20	浮魚礁モニタリング調査	3
H21.6.1~6.10	土佐湾定線調査、ヨコワ定線調査	8
H21.6.15~6.18	沈設魚礁調査	4
H21.7.1~7.8	土佐湾定線調査、ヨコワ定線調査、中層曳網調査	9
H21.7.21~7.24	沈設魚礁調査	3
H21.8.2~8.10	土佐湾定線調査、黒牧保全業務	9
H21.8.17~8.19	足摺室戸沖合定線	3
H21.8.24~8.27	底魚類資源調査（底曳網調査）	4
H21.9.1~9.9	土佐湾定線調査、黒牧保全業務	8
H21.9.14~9.16	黒牧設置予定海域海底地形調査	3
H21.9.29~9.30	黒牧設置予定海域海底地形調査	2
H21.10.1~10.5	土佐湾定線調査	5
H21.10.19~10.23	浮魚礁モニタリング調査	5
H21.10.28~10.29	底魚類資源調査（底曳網調査）	2
H21.11.2~11.10	土佐湾・宿毛湾・足摺室戸沖合定線調査	9
H21.11.16~11.20	浮魚礁モニタリング調査	5
H21.11.27~11.28	沈設魚礁調査	2
H21.12.1~12.7	土佐湾・宿毛湾定線調査、黒牧保全業務	7
H21.12.15~12.16	沈設魚礁調査、海底探査装置キャリブレーション	2
H22.1.4~1.11	土佐湾・宿毛湾定線調査	7
H22.1.18~1.20	底魚類資源調査（底曳網調査）	3
H22.1.25~1.28	沖合漁場調査	4
H22.2.1~2.8	土佐湾・宿毛湾定線調査	8
H22.2.15~3.15	定期ドック	2
H22.3.16~3.26	土佐湾・宿毛湾・足摺室戸沖合定線調査、漁場一斉調査	11
計		148